

2019 年度 第 1 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2019 年 6 月 3 日（月） 13:30～17:00
2. 場所 建築会館会議室 202 号
3. 出席者 井戸田秀樹, 五十嵐規矩夫, 田中剛, 石原直, 石田交広, 宇佐美徹,
(敬称略) 岡崎太一郎, 尾崎文宣, 木村祥裕, 窪田伸, 向野聡彦, 聲高裕治, 下川弘海,
田川泰久, 竹内徹, 多田元英, 津田恵吾, 中込忠男, 成原弘之, 西山功,
山田哲, 見波進, 兼光知己 (記録)
欠席: 越智健之, 笠井和彦, 澤本佳和, 原田幸博

4. 資料 (ストレージサーバ)

- 01-00 委員名簿 (五十嵐幹事)
- 01-01 議事予定 (井戸田主査)
- 01-02 2019 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事録案 (五十嵐幹事)
- 01-04 2019 年度第 1 回鋼構造座屈小委員会議事録 (案) (木村委員)
- 01-06 素材小委員会 (見波委員)
- 01-07 各種合成構造改定小委員会報告 (田川委員)
- 01-08-1 環境小委員会 (岡崎委員)
- 01-08-2 環境小委員会_新委員 (岡崎委員)
- 01-09 塑性設計小委員会 (聲高委員)
- 01-10 耐火設計小委員会 (第 1 回) 2019-0415 議事録 (案) (尾崎委員)
- 01-11 英文化小委員会 (岡崎委員)
- 01-12 鋼構造許容応力度設計規準講習会案 (田川委員)
- 01-14 鋼管トラス構造 (越智委員)
- 01-15 災害委員会 190527 資料 (五十嵐幹事)
- 01-16 本年度 (2019 年度) 大会 PD (岡崎委員)
- 01-18 質疑回答 (五十嵐幹事)
- 01-19 重点審議 (大会 PD_英文化小委員会) (岡崎委員)
- 01-20 英文 HP について (井戸田主査)
- 01-21 プロ編出席者 (井戸田主査)

5. 議事内容

(1) 今年度委員名簿

- ・資料 01-00 に基づき, 五十嵐幹事から今年度運営委員会の名簿の説明があった。各委員は名簿を確認し, 修正がある場合は五十嵐幹事に連絡する。
- ・今年度新委員 (窪田委員, 聲高委員) の紹介および挨拶があった。

(2) 前回議事録の確認

- ・資料 01-01 に基づき、五十嵐幹事から前回議事録案の説明があり承認された。

(3) 構造本委員会の動き

- ・前回運営委員会から構造本委員会は開催されていない。特に報告事項はない。

(4) 小委員会・WG等の報告

- ・資料 01-04～01-15 に基づき、各小委員会・WG等の担当委員から現状報告の説明があった。

座屈小委員会（資料 01-04 木村委員）

- ・「鋼構造の座屈に関する諸問題 2021」刊行（2021 年予定）に向けて引き続き検討している。
- ・資料 01-04 に示すように 6 章立てで検討している。シェルを扱うかは次回小委員会にて検討予定。

接合小委員会（資料なし 山田委員）

- ・前回運営委員会より小委員会は開催していない。次回開催は 6/8 予定。

素材小委員会（資料 01-06 見波委員）

- ・金属材料関連技術資料について引き続き検討している。
- ・鋳鉄検討 WG は、鋳鉄をどのように利用するかについての考え方をまとめ、今年度で終了予定。

各種合成構造設計指針改定小委員会（資料 01-07 田川委員）

- ・前回運営委員会より小委員会は開催していない。次回開催は 6/5 予定。
- ・第 4 編については金属系アンカーの記述を付録から本文に格上げするための作業が増えているが、先行して検討し対応している。

環境小委員会（資料 01-08-1, 01-08-2 岡崎委員）

- ・前回運営委員会より小委員会は開催していない。次回開催は 6/7 予定。
- ・新たに委嘱予定の委員（岩田善裕氏（建築研究所）、田中照久氏（福岡大学））の経歴紹介があった。

塑性設計小委員会（資料 01-09 聲高委員）

- ・塑性設計指針 4 版の改定方針を確認した。資料 01-09 に記した改定方針に関して意見があれば聲高委員に連絡する。
- ・塑性設計指針の規準化は、鋼構造全体の設計体系の議論に委ねる。

耐火設計小委員会（資料 01-10 尾崎委員）

- ・重点審議の意見を受け今後の検討内容を議論。CFT, LRFD についても検討していく。
- ・4 年後に講習会開催を目指す。
- ・委員の委嘱 四元順也氏（日本建築総合試験所）、岡部猛氏（竹中工務店）
→運営委員会にて承認された

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会（資料 01-11 岡崎委員）

- ・2019 年度大会 PD について検討。内容はほぼ固まった。
- ・接合部設計指針英語版の構造委員会査読対応は次回構造本委員会までの完了を目指す。

鋼構造設計規準改定関連（資料 01-12 田川委員）

- ・2019 年 3 月末に脱稿。10/18, 21, 25, 29 に講習会を予定。

軽構造設計施工指針・同解説改定小委員会（資料なし 竹内委員）

- ・今年度第1回開催は6/28 予定。改定の方向性を議論予定。
- 薄板軽量形鋼造の建築物に関する告示との関係も議論して欲しいとの意見あり。

鋼管トラス構造設計施工指針・同解説改定関連（資料 01-14 井戸田主査（越智委員代理））

- ・最初に、改定の方向性を越智委員と田中幹事を中心に検討していく。

災害委員会（資料 01-15 五十嵐幹事）

- ・各委員は本会の地震災害調査活動指針（資料 01-15, pp. 53-）を再度確認する。

(5) 本年度（2019 年度）大会 PD

- ・資料 01-16 に基づき、岡崎委員から PD 告知案の説明があった。

(6) 来年度（2020 年度）大会 PD

- ・次回、案を持ち寄り議論する。今年度大会前には決定する。

(7) 学会図書の質疑回答の報告

- ・資料 01-18 に基づき、五十嵐幹事より、質疑回答の状況報告があった。

(8) 重点審議

- ・資料 01-19 に基づき、岡崎委員から鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会の活動概要、今年度 PD 案の説明があった。

以下主な討議

- ・主題解説で設計体系のついて話す場合、鋼構造だけでなく構造全体の立場で考えたほうがよい。
- ・現在の設計体系に至る経緯は是非解説してほしい。
- ・世界の人に分かりやすい設計体系をつかって発信することの意義を伝えてほしい。
- ・海外から日本の設計体系・内容がどのように見られているかを知りたい。
- ・海外で設計経験のある技術者が日本で設計した場合にどのように感ずるか、生の意見を聞きたい。
- ・建築学会、建築基準法、建築物の構造関係技術基準解説書をまとめて、日本の設計体系を整理するのもよい。
- ・建築物の構造関係技術基準解説書の技術的な背景を調べてみてもよい。
- ・実構造物は、純粋な鋼構造は少なく混構造がほとんどである。実務的には、使用材料に依存しない設計体系を目指して欲しい。
- ・「英文化を検討していく中で、現在の設計体系に関する疑問が見え今後検討していく必要があるのでは」という提言をするというスタンスでよいのではないか。構造本員会、鋼構造運営委員会でも勉強中である。
- ・鋼構造以外の先生方にも PD で意見を頂くことを検討して欲しい。
- ・大きな課題（資料 01-19, pp. 21）に議論の中心が及ばないように進行してほしい。

(9) 英文 HP について

・資料 01-20 に基づき，井戸田主査から英文 HP の見直しの依頼があった。各小委員会主査は，英文 HP を確認し，案を兼光に提出する。

(10) 大会プログラム編成会議（4/19）について

・資料 01-20 に基づき，井戸田主査から今年度大会プログラム編成結果の報告があった。

(11) 若手優秀発表賞について

・2018 年度受賞者を HP に掲載する。2019 年度要綱を HP に掲載する（主査・幹事が対応）。

6. その他

次回運営委員会 2019 年 7 月 29（月）13:30-17:00

以上